

NewsRelease

岩谷産業株式会社 広報部

東京本社: 〒105-8458 東京都港区浜松町2-3-1 TEL: 03-5405-5851
大阪本社: 〒541-0053 大阪市中央区本町3-6-4 TEL: 06-7637-3468

2026年3月27日

福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）製造の低炭素水素を活用した「ハイドロカット®」を福島第一原子力発電所溶接型タンク解体工事に供給開始～再生可能エネルギー由来の水素で、環境負荷低減と安全性向上を実現～

岩谷産業株式会社（本社：大阪・東京、社長：間島寛、資本金 350 億円）は、福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）※1 で製造した再生可能エネルギー由来の水素を原料とした溶断ガス「ハイドロカット®」※2 を、福島第一原子力発電所構内の溶接型タンク解体工事向けに供給します。

福島第一原子力発電所の廃炉作業では、長期にわたり安全かつ着実な解体作業が求められる中、使用資材やエネルギーにおいても環境負荷低減と現場安全性の向上が重要な課題となっています。こうした中、当社は従来のアセチレン等に代わる選択肢として、環境性・安全性・作業性に優れたハイドロカット®を提供してきました。

ハイドロカット®は、従来、現場解体作業等で用いられてきたアセチレン等と比べ、環境負荷の低減（CO₂排出量の大幅削減）や作業現場での安全性向上、作業効率の改善といった特長を有しています。一方、福島県では福島新エネ社会構想の中で FH2R を拠点とした水素社会モデルの構築を進めております。このような背景の中、FH2R 産水素を原料としたハイドロカット®の供給が初めて実現しました。

FH2R による再生可能エネルギー由来の水素を活用することで、地産地消による水素利用と製造工程段階からの脱炭素化に貢献します。このような取り組みにより、当社は水素の社会実装を推進し、脱炭素社会の早期実現を目指します。



ハイドロカット®容器

さあ、福島から水素で未来を紡ごう



このハイドロカット60は福島で生まれた低炭素H₂を使用しています

FH2R製水素を使用したハイドロカット®専用ステッカー

※1 「福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）」の概要

FH2Rでは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する委託事業として、再生可能エネルギーを活用した水素システムの事業モデル構築および大規模実証に係る技術開発が進められています。20MWの太陽光発電の電力を用いて水の電気分解を行い、毎時1,200Nm³（定格運転時）の水素を製造し、貯蔵・供給しています。FH2Rで製造した水素は、定置型燃料電池向けの発電用途や、燃料電池車・バスなどのモビリティ用途として、福島県や東京都などの需要先へ供給しています。

※参考リンク

再エネを利用した世界最大級の水素製造施設「FH2R」が完成（2020年3月7日）

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101293.html



FH2R全景（福島県双葉郡浪江町）

※2 「ハイドロカット[®]」の概要

ハイドロカット[®]は、エチレンと水素の混合ガスで、金属等の溶断作業に用いられます。従来のアセチレンやLPGと比べ、CO₂排出量を大幅に削減できる環境負荷の低さに加え、発火温度が高く燃焼範囲が狭いことから、逆火や爆発リスクが低く安全性に優れています。また切断面がきれいでススが少なく、作業環境や作業効率の改善、品質の向上にも寄与します。

※参考リンク

岩谷瓦斯㈱ ハイドロカット[®]

<https://www.iwatanigas.co.jp/business/gas/fuel-cutting.html>